平成27年度発達障害に関する教員の専門性向上事業

三次市立甲奴小学校の取組

研究テーマ
地域を愛し，人から学び，自分を高めることができる児童の育成
～　人間らしいよさを心にきざむ道徳の時間の指導を通して　～

授業実践①（プラン）

◆第（６）学年（道徳）　主題名「目標に向かって」
資料名「夢をつかまえよう！」

◆本時の目標

挫折を乗り越えて前向きに夢に向かって取り組もうとするゆうじの気持ちを考えることを通して，自分の弱さに負けず目標に向かって前進していく意思が大切であることに気付き，より高い目標に向かって粘り強くやり通そうとする態度を養う。

◆児童の状況と，それをふまえた指導・支援のポイント

学級全体の状況
・学校のリーダーとしての自覚がある。
・授業に対する構えができている。
・行動，発言に自信が持てない。
・友だちの見方に固定化がみられる。

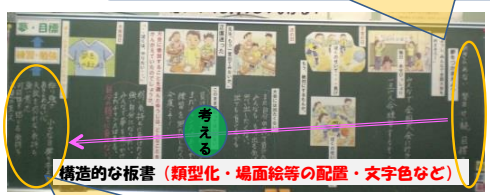
特別な支援が必要な児童の状況
・学習に対して前向きである。
・主人公の心情の深い読み取りが難しい。
・自己肯定感が低い。

指導・支援のポイント
・わかりやすい授業（構造的な板書・パターン化）
・考えさせる授業（問題解決的な学習）
・自己肯定感が高まる授業（ペアトーク・つなぎ発言・教師からのコメント）

授業実践②実践の具体

わかりやすい授業（構造的な板書）　考えさせる授業（問題解決的な学習）

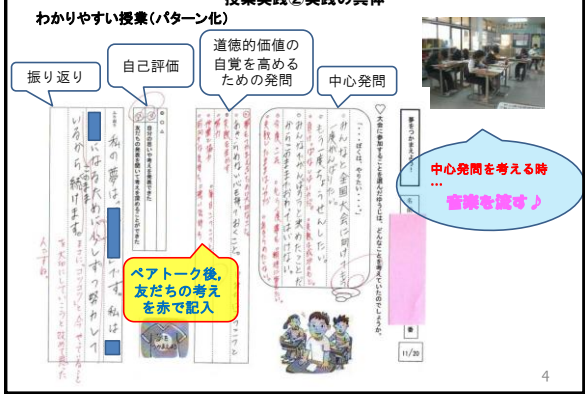
初め　夢や目標を達成するために大切なことについて考えよう。



まとめ　夢や目標を達成するために大切なことって何だと思う？

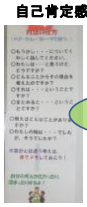
授業実践②実践の具体

わかりやすい授業（パターン化）



授業実践②実践の具体

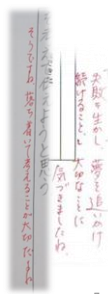
自己肯定感が高まる授業



ペアトーク

つなぎ発言

教師からのコメント



授業実践③成果と課題

道徳の時間は考えやすい（児童アンケート）　（人）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年度当初	6	6	2	0
９月	9	4	1	0
１２月	8	6	0	0

自分にはよいところがあると思う（児童アンケート）　（人）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
年度当初	１０	2	1	1
９月	8	3	3	0
１２月	9	3	0	2

成果
・全ての児童が「考えやすい」と回答。
・授業中の発言数の増加。

課題
・道徳的価値の自覚の深まりが弱い。
・自己肯定感が持てていない児童がいる。

○成功体験の少なさか？
○周りからの肯定的な評価の少なさか？
○肯定的な評価が実感できていないのか？

授業実践④今後の改善点

わかりやすい授業
- ねらいとする道徳的価値の明確化
- TTの良さを生かした指導
- ICTの活用

考えさせる授業
- 考えたくなる授業展開の工夫
- 体験活動との関連

自己肯定感が高まる授業
- 「集団づくり」との関連
- 成功体験の場の設定

普及・啓発①拠点教諭の取組

三次市特別支援教育研修会

授業提案

道徳：主題名　相手のことを考えて1－(1)
資料名「わたしの知らないところで」

情報モラル教育

昨年度の取組発表

普及・啓発②拠点校の取組

甲奴小ユニバーサル授業

5年「電車の運転士」・・・
②視覚的情報の効果的な活用

6年「江戸しぐさ」・・・
④身体表現化の活用

【ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の工夫】

①発問の精選
②視覚的情報の効果的活用
③交流の場の設定
④身体表現化の活用
⑤ワークシートの活用

※5つの視点を共通認識し，指導案へ記入。

普及・啓発②拠点校の取組

甲奴中学校区小中一貫教育公開研究会

甲奴小ユニバーサル授業についても提案

紀要の一部分

今年度の成果・課題

	成　果	課　題
授業実践	・「わかりやすい授業」について，全教職員で実践・検証ができた。	・「考えさせる授業」「自己肯定感が高まる授業」に充分なっていなかった。
普及・啓発	・校内へ ユニバーサル授業の視点の共通認識を行い，全指導案へ記載した。 ・保護者へ 町内，市内の先生方へ 甲奴小ユニバーサル授業について発信できた。	・甲奴中学校区での共通認識ができていなかった。 ・研修内容を生かした実践の積み上げと普及が不十分だった。

次年度への展望

	取組の重点
授業実践	・「考えさせる授業」にしていくための問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫を行う。 ・「自己肯定感が高まる授業」にしていくための小集団活動を生かした授業づくりについて研究する。
普及・啓発	・ユニバーサル授業について，甲奴中学校区での共通認識をはかる。 ・実践の積み上げと検証を行い，効果的なものを市内に広める。